

議題(2) 子ども・子育て支援事業計画(第2期)の5年間の振り返りについて

1. 地域における子育て支援の充実

(1) 地域における子ども・子育て支援サービスの充実

① 地域子育て拠点事業

つどいの広場 3 か所、地域子育て支援センター1 か所で実施した。

年度	利用人数(人)
令和2年度	8,830
令和3年度	11,045
令和4年度	12,205
令和5年度	12,287
令和6年度	14,271

【関係する課】 こども未来課

② ファミリー・サポート・センター事業

働く人の仕事と育児の両立を図るため、育児の相互援助活動を行う会員(利用会員、協力会員)を組織し、コーディネートする事業を合志市社会福祉協議会へ委託し実施した。

年度	利用会員数(人)	協力会員数(人)	利用件数(件)
令和2年度	1,212	445	1,888
令和3年度	1,223	464	1,734
令和4年度	1,230	482	1,945
令和5年度	1,260	500	1,648
令和6年度	1,243	514	1,100

【関係する課】 こども未来課

③ 一時預かり事業(在園児対象型を除く)

一時的に保育が必要な児童を半日～1日預かる一時保育委託事業を NPO 法人へ委託により実施した。

年度	開所日数(日)	延べ利用者数(人)
令和2年度	358	677
令和3年度	359	779
令和4年度	357	1,175
令和5年度	360	1,196
令和6年度	357	1,537

【関係する課】 こども未来課

④病児保育事業

合志市社会福祉協議会へ委託し、ふれあい館「すこやか」で実施した。

年度	登録者数(人)	利用者数(人)
令和2年度	3,640	286
令和3年度	3,860	332
令和4年度	4,030	80
令和5年度	4,327	494
令和6年度	4,547	438

【関係する課】 こども未来課

⑤子育て短期支援事業(ショートステイ)

保護者の疾病、経済的な理由などによる緊急一時的な保護を見守り施設等 7 施設に委託し実施した。

年度	保護した児童数(人)
令和2年度	0
令和3年度	2
令和4年度	1
令和5年度	1
令和6年度	2

【関係する課】 こども未来課

⑥子育て短期支援事業(トワイライトステイ)

夜間、休日等に見守りを養育することが困難な場合に保護を見守り施設等 7 施設に委託し実施した。

年度	保護した児童数(人)
令和2年度	0
令和3年度	2
令和4年度	0
令和5年度	0
令和6年度	0

【関係する課】 こども未来課

⑦放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

市内小学児童の放課後預かりを目的に、一般社団法人等に委託して実施した。

年度	入所児童数(人)								
	合志南小	南ヶ丘小	西合志南小	西合志東小	西合志中央小	合志楓の森小	社会福祉協議会	学校法人第一学園	合計
令和2年度	202	119	154	292	168	—	61	11	1007
令和3年度	126	111	143	225	173	134	60	12	984
令和4年度	139	110	134	217	169	158	75	—	1,002
令和5年度	163	110	135	241	210	158	83		1,100
令和6年度	175	162	161	236	238	170	70		1,212

【関係する課】 こども未来課

(参考)合志小学校区の自主事業

年度	入所児童数(人)			
	竹迫みのり保育園	合志中部保育園	栄保育園	合計
令和2年度	18	43	16	77
令和3年度	20	46	13	79
令和4年度	13	39	13	65
令和5年度	10	43	12	65
令和6年度	1	46	12	59

【関係する課】 こども未来課

(2)保育サービスの充実

①利用者支援事業

○特定型利用者支援(保育コンシェルジュ)

こども未来課の窓口配置し、保育施設を利用したい保護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言を行った。また、在園児の保護者からの相談に応じて、認可保育施設を訪問し、保育環境についての助言を行った。

【関係する課】 こども未来課

②保育サービスの拡充

年度	認可保育施設数	定員	入所児童数 (3/1 現在)	待機児童数 (4/1 現在)
令和2年度	30	2,513	2,672	14
令和3年度	31	2,618	2,731	2
令和4年度	31	2,628	2,720	4
令和5年度	31	2,628	2,691	2
令和6年度	31	2,628	2,738	0

【関係する課】 こども未来課

③時間外保育(延長保育)事業

合志市内の認可保育施設を利用する児童の保護者が、標準時間(11 時間)の保育でも不足する場合に、保育時間を延長し預けた。

年度	延べ利用者数(人)
令和2年度	25,665
令和3年度	23,279
令和4年度	25,647
令和5年度	22,821
令和6年度	21,166

【関係する課】 こども未来課

(3)こどもの健全育成

①児童館運営の充実

泉ヶ丘児童館・東児童館は市直営、西児童館はふれあい館の一部に属し、合志市社会福祉協議会に事業運営を委託した。

年度	延べ利用者数(人)
令和2年度	12,351
令和3年度	16,111
令和4年度	20,384
令和5年度	26,360
令和6年度	29,364

【関係する課】 こども未来課

2. こどもと母親の健康の確保および増進

(1) こどもと母親の健康の確保

① 母子健康手帳交付時の情報提供の充実

こども家庭課の窓口にて保健師・管理栄養士が母子健康手帳を交付した。

年度	母子健康手帳交付数(人)
令和2年度	631
令和3年度	645
令和4年度	613
令和5年度	588
令和6年度	539

【関係する課】 こども家庭課

② 妊婦健診事業および妊婦歯科健診の啓発

年度	妊婦健診延べ 受診者(人)	妊婦歯科健診 受診者(人)	妊婦歯科健診 受診率(%)
令和2年度	7,266	230	38.9
令和3年度	6,894	201	33.1
令和4年度	6,620	226	40.0
令和5年度	6,509	202	35.7
令和6年度	6,220	216	41.6

【関係する課】 こども家庭課

③ 妊婦・乳幼児訪問事業

妊産婦及び乳児(生後2か月児前後)の家庭を保健師や助産師が訪問した。

年度	特定妊婦 (人)	妊婦訪問数 (件)	乳児訪問数 (件)
令和2年度	5	35	632
令和3年度	4	35	537
令和4年度	4	25	558
令和5年度	4	30	525
令和6年度	3	42	535

【関係する課】 こども家庭課

④乳幼児健診における取り組みの充実

4 か月、7 か月、1 歳 6 か月および 3 歳児の健診を行い、成長発達の確認をするとともに、育児の不安解消や、病気や障害を早期に発見し、適切な治療や療育等につなげました。

年度	4 か月健診 受診率(%)	7 か月健診 受診率(%)	1 歳 6 か月 健診受診率(%)	3 歳児健診 受診率(%)
令和2年度	95.4	100.0	97.4	99.2
令和3年度	97.7	97.3	98.3	97.4
令和4年度	98.9	98.5	98.5	98.7
令和5年度	98.6	95.9	100.0	98.1
令和6年度	99.1	100.0	97.4	100.0

【関係する課】 こども家庭課

⑤乳幼児のむし歯予防の推進

1 歳 6 か月児健診と 3 歳児健診の時にフッ化物塗布を実施した。また、保育所等でフッ化物洗口を実施した。

年度	むし歯保有率 (1 歳 6 か月児健診時)	むし歯保有率 (3 歳児健診時)	フッ化物洗口実 施園数(施設)	フッ化物洗口実 施率(%)
令和2年度	1.32	10.72	19	98.6
令和3年度	1.17	8.89	18	98.1
令和4年度	0.44	8.29	15	98.8
令和5年度	0.47	8.47	18	96.6
令和6年度	0.80	6.42	18	95.8

【関係する課】 こども家庭課

⑥感染症予防の推進

予防接種法に基づく定期接種を実施した。

年度	接種件数(定期接種のみ)
令和2年度	18,347
令和3年度	17,122
令和4年度	17,823
令和5年度	18,156
令和6年度	17,449

【関係する課】 こども家庭課

⑦心理相談の充実

乳幼児の発達について、心理相談員や臨床心理士が面接を行い、発達を促すアドバイスや、発達検査を実施し発達の確認を実施した。

年度	回数	延べ人数
令和2年度	148	440
令和3年度	151	472
令和4年度	158	469
令和5年度	161	452
令和6年度	158	478

【関係する課】 こども家庭課

⑧健康育児相談事業

月1回ヴィーブルにて育児相談を実施した。

年度	実施回数	対象者
令和2年度	0	0
令和3年度	9	143
令和4年度	12	213
令和5年度	12	218
令和6年度	12	295

【関係する課】 こども家庭課

⑨こども医療費助成制度の充実

【現状および利用状況等】

年度	受給資格者数			助成金額(円)		
	～小学生	中学生	高校生	～小学生	中学生	高校生
令和2年度	10,190	2,238	-	240,993,500	41,212,770	-
令和3年度	10,237	2,343	-	267,830,631	42,546,537	-
令和4年度	10,189	2,389	2,169	287,291,440	45,083,270	642,920
令和5年度	10,145	2,423	2,226	328,779,958	67,950,809	56,272,260
令和6年度	10,026	2,488	2,314	327,337,309	73,171,861	62,064,193

【担当課】 こども未来課

(2) 思春期保健対策の充実

①性に関する正しい知識の普及

各小・中学校は、保健体育や性教育の授業等で性に関する正しい知識の普及と命の重さ、自分の命と相手の命を大切にすることを育てることに努めた。

性に関する正しい知識の普及については、各学校が立てた年間指導計画に沿って、各教科・領域等を通して適切に指導を行った。授業のなかでは、命の尊さについても伝えていくとともに、年齢に応じた授業内容を工夫した。

【関係する課】 学校教育課

②喫煙や薬物の害についての啓発

年間計画に従って、喫煙や薬害についてすべての小・中学校で指導を行った。児童生徒だけでなく、保護者も対象として講話等を行い、喫煙や危険ドラッグ等の薬物の健康面や社会生活上の害について啓発し、単に知識として理解するだけでなく、実際に自分が誘われるときに NO と言えることを目標に指導を行った。

【関係する課】 学校教育課

③情報教育の充実

令和3年度より市内小中学校に在籍する児童生徒へ、一人に一台タブレット端末を配布した。タブレット端末は、授業での調べ学習をはじめ、欠席や出席停止時のオンラインでの授業配信や、健康観察等に活用した。

活用するにあたり、タブレット端末を正しく使用することが必要であり、児童生徒、教職員、保護者等の理解と協力を得ながら情報教育の充実を図った。

【関係する課】 学校教育課

④スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる相談支援の充実

市内小・中学校に県のスクールカウンセラーが配置されていると同時に、合志市では独自に教育相談員も配置をしている。学校の児童生徒だけでなく保護者も相談がしやすい環境を整えている。

◆スクールカウンセラーや教育相談等を受けた本人及び関係者の実人数

令和6年度:588人

年度	実人数
令和2年度	316
令和3年度	473
令和4年度	423
令和5年度	518
令和6年度	588

学校や家庭での生活において課題を抱える児童生徒に対しては、各学校担当のスクールソーシャルワーカーが、その家庭やそれらを取り巻く環境に介入し、調整しながら、支援する取り組みの充実を図った。

◆スクールソーシャルワーカー相談実件数

年度	実件数
令和2年度	91
令和3年度	102
令和4年度	122
令和5年度	96
令和6年度	104

【関係する課】 学校教育課

⑤教育支援センターの充実

中学校区に一ヵ所ずつ教育支援センターを設置している。

年度	実人数
令和2年度	19(3 教室)
令和3年度	15(4 教室)
令和4年度	18(4 教室)
令和5年度	34(4 教室)
令和6年度	35(4 教室)

【関係する課】 学校教育課

3. こどもの健やかな成長のための教育環境の整備

(1) 確かな学力の向上

①指導員等の配置による学校教育の充実

	令和 2	3	4	5	6
小学校英語指導講師	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
学校教育活動指導員	中学校 8 人 小学校 27 人	7 人 28 人	8 人 28 人	8 人 28 人	8 人 28 人
教育介護補助員	35 人	39 人	40 人	40 人	40 人
外国語指導助手(ALT)	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人
ICT支援員	0 人	3 人	3 人	4 人	5 人

【関係する課】 学校教育課

②教職員の研究・研修による学校教育の充実

職員経験 5 年以下（初任者は除く）又は希望する教職員（臨採を含む）に対して、校長経験者等を学校に派遣し、授業を参観し、指導助言を行うことで授業力及び教育的実践力の向上を図った。

小中一貫教育の発展向上を図るため専門知識を要するコーディネーターが学校間の連携について指導・助言を行った。

各小中学校の研究主任を対象とした学力向上員会（年 4 回）、毎月開催の教務主任会議を中心に、情報教育担当者会（年 5 回）、英語担当者会（年 1 回）、ことば教育担当者会等の担当者会を通して、現状や対策について、それぞれの立場からの検討の場を設けた。

令和 6 年度（2024 年度）全国学力・学習状況調査（R6.4 実施）の平均正答率は、小学校の国語において、県平均と同等、全国平均をわずかではあるが下回った。算数では、県平均と同等、全国平均をやや下回った。

中学校の国語において、県平均と全国平均を上回った。数学においては、県平均と同等、全国平均を下回った。

【関係する課】 学校教育課

③市標準学力調査の実施

令和 4 年度から実施している市標準学力調査（CRT）の結果は、小学校では、5 年の国語、算数、理科で全国平均を上回り、ほとんどの学年・教科では全国平均と同程度であった。

中学校では 1 年の国語と理科、2 年の国語で全国平均を上回ったが、他の学年・教科では全国平均と同等もしくは下回った。

【関係する課】 学校教育課

④中学校進路指導対策支援の充実

進路指導については、キャリア教育の視点をもって取り組んでいかなければ進路保障、生き方保障につながらない。そのため、小学校からキャリアパスポートを活用して、継続的なキャリア教育の視点に立って教科や領域の指導を行っている。

すべての教科および領域の指導においてキャリア教育の視点をもって指導を進めた。各学校での研究を進めるうえでもキャリア教育の視点に立った研究を推進した。

中学校においては職場体験学習を実施した。体験を通して働くことの意義や喜び、苦勞を学びながら自分自身の生き方を考える機会となるように指導した。また、進路指導については具体的に進路決定のために必要な知識と計画的に学習を進めるための方法等を指導

している。奨学金の申請については、自分自身で考えるべきこととして丁寧な説明に心がけて取り組んでいる。

【中学校進路指導対策支援補助金】

市内中学校で実施される、中学 3 年生の進学、就職に係る進路保障対策のための事業（受験手続き・引率等）に対する経費を助成した。

◆令和6年度補助額：410,000 円

【関係する課】 学校教育課

(2) 豊かなこころの育成

①本を通した豊かなこころの育成の推進

乳幼児期から歌や手遊びを交えた絵本の読み聞かせを行っている。市内各所を巡回し図書の貸し出しや配本を行っている。

こどもたちの豊かな感性を磨き、表現力を高めたり、想像力を豊かにしたり、情報活用能力や読解力を向上させるため、小中学校へ司書を配置し、学校図書を充実させた。

【関係する課】 生涯学習課、学校教育課

②学校教育における豊かなこころの育成の推進

水俣に学ぶ肥後っ子教室助成事業

実施校 8校 事業総額 3,083,620 円

事業内容：水俣環境センターを見学し、公害・環境問題の原点である「水俣」を学ぶことにより、体験を通して環境問題に対する意識を高める。

【関係する課】 学校教育課

(3) 健やかな体の育成

①小中学校における健康管理の推進

市特別職非常勤職員として、学校医を 28 名、学校歯科医を 22 名、学校薬剤師を 9 名委嘱し、疾病等の早期発見や早期治療に努め、児童生徒と教職員の健康の保持増進を推進している。また、市一般職非常勤職員として、フッ化物洗口実施補助員を 3 名任用し、むし歯予防対策として、児童生徒の歯磨き指導に加え、フッ化物洗口事業を実施した。

【関係する課】 学校教育課

②学校給食の提供と食育の推進

- 合志市小・中学校では、完全給食を実施している。
- 自校方式（8校7施設/旧西合志町、合志楓の森小・中）、センター方式（4校分1施設/旧合志町）で調理をし、安全で安心なおいしい給食を安定的に提供している。また、学校では児童生徒が給食をとおして、食べ物に関する知識と食生活習慣を身につけることができるよう推進している。

■自校方式 8校

小学校 5校：提供数 3,437 人—小学生＋教職員等

中学校 3校：提供数 1,613 人—中学生＋教職員等

■センター方式 4校

小学校 3校：提供数 1,661 人—小学生＋教職員等

中学校 1校：提供数 771 人—中学生＋教職員等

センター：提供数 30 人—センター職員

（合計：8,102 人）

- 年間給食実施予定回数 小学校 191 回・中学校 191 回

【関係する課】 学校教育課

③部活動による健やかな体の育成の推進

- 合志市立中学校における生徒の心身共に健全な育成とスポーツや文化の普及振興を図るため、中学校の部活動に対して補助金を交付した。また、合志市立中学校の部活動の部員及び引率する指導員が、学校教育活動の一環として県大会以上の各種大会に出場する場合に、その経費負担の軽減を図るため補助金を交付した。

（令和6年度実績）

部活動奨励補助金事業 4 中学校 53 部 補助金総額 3,598 千円

各種大会出場助成事業 4 中学校 33 部 補助金総額 3,273 千円

- 上記以外の 18 歳以下の人に対しては、人材育成を目的に、スポーツや文化活動で各種大会に参加した場合に経費の一部を補助金として交付している。

（令和6年度実績）

申請件数：369 件（うち小学生 119 件、中学生 84 件）補助金総額 2,810 千円

【関係する課】 学校教育課、企画課

④小中学校スポーツテストの充実

小中学校児童生徒のスポーツテストを実施し、データ分析処理を行い、個々の児童生

徒の体力を把握している。

【関係する課】 学校教育課

(4) 信頼される学校づくり

① 学校評議員の設置

市特別職非常勤職員として、各学校 3 名ずつ、計 36 名の学校評議員を委嘱している。

学校評議員は、校長の学校運営に関する権限と責任を前提として、校長の求めに応じ、一人一人の責任において学校運営に関する意見を述べ、学校、家庭及び地域の連携及び協力を推進することにより、児童生徒の健やかな成長を図っている。

【関係する課】 学校教育課

② 日本スポーツ振興センター共済への加入

児童生徒の学校内における災害等への対応として、日本スポーツ振興センター共済へ加入し、学校安全の普及充実とともに、必要な災害給付を行っている。

年度	給付件数(件)	給付金年間総額(千円)
令和2年度	631	3,942
令和3年度	619	5,628
令和4年度	728	6,420
令和5年度	875	6,262
令和6年度	790	6,080

【関係する課】 学校教育課

③ 教育振興用資器財購入とパソコンの整備の推進

文部科学省の「GIGA スクール構想」の実現のため、学習用タブレット端末、校務用端末、電子黒板の整備、校内ネットワーク構築を行っている。

また、家庭学習や校外学習等でも活用できるよう通信機器を整備し、様々な場面での端末の利活用を促進することにより、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っている。

【関係する課】 学校教育課

④学校施設の整備の促進

児童生徒数の増加により教室の不足が生じないよう、校舎の増築及び建築を行っている。また、災害や老朽化のため修理が必要な場合には迅速に対応できるよう努めている。

【関係する課】 学校教育課

⑤プール監視安全管理の推進

夏季休業中の合志市立小学校プール開放において、児童が安全にプールを利用できるようにPTAでプール監視を行っている。それに伴う経費助成のため、1校あたり142,500円を限度として補助金を交付している。

【関係する課】 学校教育課

⑥スクールバスの運行

合志小学校及び西合志中央小学校で通学距離が遠距離の児童の便益のため、スクールバスを運行している。

(令和6年度実績)

委託先：九州産交バス株式会社 送迎日数 197日 遠隔地児童 186人

事業費：18,419,000円

【関係する課】 学校教育課

(5) 幼児教育の充実

①幼児教育機能の向上

- 保育所や幼稚園、認定こども園、地域型保育事業施設等では、それぞれが有する機能を活かしながら、幼児教育のさらなる充実を図っていくとともに、地域の関係行政機関、団体、地域組織とのネットワークを構築し、そこでの機能が幼児教育の充実に活かされるよう支援している。
- 幼児教育の充実を図るための情報交換や情報提供の場として、園長会や、保育所や幼稚園、認定こども園、地域型保育事業施設等ならびに小学校、中学校の連携のための会議等を定期的で開催している。

【関係する課】 こども未来課、学校教育課

②一時預かり事業（在幼稚園児対象型）

幼稚園及び認定こども園で実施しており、事業実施の園に対しての補助を行っている。
（令和6年度実績） のべ対象 19,926 人 補助金総額 7,936 千円

【関係する課】 こども未来課

③相談・情報提供の充実

（学校教育課）

- 教育委員会としても、就学前の児童の状況を把握するために幼稚園や保育園の情報が
必要不可欠となっている。入学当初から特別支援学校や特別支援学級等を希望する
児童や、保護者に対して教育相談の場を設けるためのきっかけづくりとなっている。また
事前に保育園・幼稚園に気になるお子さんのアンケート（身体状況等）を取ることで、ス
ムーズに就学相談を行う体制を整えている。
- 気になるお子さん対象のアンケート調査を実施している。

（各保育園・幼稚園・こども家庭課に依頼し、アンケート調査を実施）

令和6年度のアンケート対象者 806 人

（こども家庭課）

保護者に対する相談や情報提供を行い、相談対応時に必要に応じて関係機関と連
携をとり、各機関に繋いでいる。

【関係する課】 こども未来課、学校教育課、こども家庭課

④保育所や幼稚園、認定こども園、地域型保育事業施設等、ならびに小学校、中学校 の連携強化

- 合志市幼保・小・中連携協議会を軸に、相互の学校や園が協力しながら連携を図り、協
働で市内の子供たちの教育や支援を進めている
 - ◆幼保・小・中連携協議会：年間 1 回開催
 - ◆各中学校区連携協議会：年間 3 回開催
- 中学校区ごとに「育ちのものさし」を作成し、校区の保護者に配付している。
- 「メディアコントロールデー」を毎月 15 日に設定し、各学校で家庭への周知を図ると同
時に、同日を「ことば教育の日」として家族の対話を大事にする日として周知を図ってい
る。

【関係する課】 学校教育課

（6）家庭や地域の教育力の向上

①家庭教育学級の支援

家庭教育向上を図るため、市内保育施設の子どもの保護者で組織された団体の経費に対して補助金を交付した。

令和6年度実績：保育施設 5 団体へ補助金総額 125,000 円を交付

【関係する課】 生涯学習課

②図書館蔵書の整備充実

第3次子どもの読書活動推進計画に基づき、児童書の蔵書数を充実させ、かつ、バリアフリーの観点から、点字絵本や、大活字本等も収集予定。

(令和6年度図書館利用状況)

◆蔵書冊数

西合志 210,428 冊、ヴィーブル 101,943 冊、泉ヶ丘 20,685 冊

◆貸出状況

西合志 292,973 冊、ヴィーブル 86,371 冊、泉ヶ丘 69,208 冊、
移動 西合志図書館貸出冊数 292,973 冊のうち 7,274 冊

【関係する課】 生涯学習課

③子育て家族に対する相談支援の充実

- こども家庭課に子ども家庭支援員等を配置し、電話相談や面接相談、訪問等を行い、関係機関と連携しながら子育て家族に対する支援を行った。

年度	児童相談人数
令和2年度	337
令和3年度	326
令和4年度	429
令和5年度	416
令和6年度	466

- こども家庭課では、育児相談時以外も随時保健師や栄養士等による子育て等の相談を実施した。電話相談や面接相談、訪問等を行い、子育て等に対する支援を行った。

●こども家庭センター型利用者支援事業

児童福祉法及び母子保健法の一部改正に伴い、これまでの妊産婦や乳幼児の相談を受ける「子育て世代包括支援センター(母子保健)」と、しつけや養育に関する相談を受ける「子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)」を一体とした、すべての妊産婦、こども、子育て世帯を対象に相談・支援を行う「合志市こども家庭センター」を、令和6年4月に設置した。

④教育相談の充実

合志市教育委員会から市内小中学校全てに教育相談員を配置し、熊本県派遣のスクールカウンセラーと併用しながら学校や保護者の抱える様々な問題に対応できるよう努めた。

令和6年度合志市教育相談員：5名 対応件数：353件

年度	教育相談員人数	対応件数
令和2年度	4人	241件
令和3年度	6人	468件
令和4年度	4人	542件
令和5年度	5人	349件
令和6年度	5人	353件

令和6年度を475件としていましたが、353件に訂正します

⑤地域住民の子育てへの参加の意識啓発

就園前の親子が気軽に立ち寄れる地域のつどいの場として、ボランティアの協力により、市内7ヵ所で定期的に子育てサロンを実施した。

また、ファミリーサポートセンター事業を実施し、地域の協力会員による育児の援助を行った。

⑥地域学校協働活動の充実

本市は、小中一貫教育を推進しており、中学校区に地域学校協働本部を設置。また、各小中学校に1名の推進員(中学校は統括推進員)を配置、各校の担当職員と連携を図っている。こどもたちが合志市に愛着と誇りを持ち、地域に貢献したいと考える人材を育てることを最終目標としている。

⑦コミュニティスクールの支援

コミュニティスクール助成金として、各小中学校へ95,000円を上限に交付した。

令和6年度補助金総額：714,000円

⑧世代間交流の推進

地域の高齢者との交流については、保育施設や小学校の行事への招待や高齢者福祉施設への訪問を行い、世代間交流に取り組んでいる。

【関係する課】 こども未来課、学校教育課

⑨中学校での職場体験の充実

市内の企業や団体で組織する合志市企業等連絡協議会（80 社）の事業計画として「市内中学生職場体験事業への協力」に取り組んでいる。

【関係する課】 学校教育課、商工振興課

⑩農による教育活動の充実

- 体験学習を通じて土に親しみ、農業を肌で感じてもらうことにより、自然環境の中で農地の果たす役割等を認識してもらうため、小学校稲作体験事業を行っている。
- 安全安心な野菜を学校給食に提供するための研修会、栽培講習会を行うために学校 給食用野菜出荷組合活動支援事業を行っている。
- 中学生の発育促進及び健康づくり・牛乳消費拡大を目的に中学校給食用牛乳補助事業を行っている。

年度	米作り活動を実施した学校数
令和2年度	2（合志小・西合志中央小）
令和3年度	2（合志小・西合志中央小）
令和4年度	2（合志小・西合志中央小）
令和5年度	2（合志小・西合志中央小）
令和6年度	2（合志小・西合志中央小）

【関係する課】 農政課、学校教育課

⑪総合型地域スポーツクラブの運営支援

「いつでも どこでも いつまでもスポーツに親しもう」を合言葉に多種目、多世代で構成された会員で構成されている。競技志向やエンジョイ志向のサークル等様々なサークルがあり、楽しく活動できるよう支援している。

令和6年度会員数クラブこうし 803 人・ヴィーブルFUNクラブ 441 人

【関係する課】 生涯学習課

4. こどもの安全確保と生活環境の整備

(1)交通安全の推進

①交通安全の指導強化

17名の交通指導員を委嘱し、市が設定している安全安心の日や、春・秋及び年末年始の全国交通安全運動期間中の街頭指導、交通安全教室や市主催行事等での交通指導、交通指導員会議を行った。

令和6年度実績: 幼保育園 12回 604人

小 学 校 8回 2,960人 (合計 20回 3,564人)

②シートベルト・チャイルドシート着用の推進

春・秋の全国交通安全運動期間にハンドプレートを使った交通安全啓発運動を行った。また、令和元年からは、秋の全国交通安全運動推進大会を合志市と熊本市北区で交互に行うようになっている。

【関係する課】 安全安心課

(2)犯罪等の被害から守る活動の推進

①犯罪等に関する情報提供

- ゆっぴーメールや教育委員会からの不審者情報等を市ホームページや防災メールで早急に情報提供している。
- 警察や防犯協会からの啓発チラシ等を施設設置や各地区に配布し、情報提供を行った。

【関係する課】 安全安心課

②防犯に関する啓発活動の推進

- 児童の下校に合わせ、防災行政無線で下校時の見守り放送を行っている。
- 警察や防犯協会からの啓発チラシ等を施設設置や各地区に配布し、犯罪情勢・傾向・対策等の啓発を行っている。

【関係する課】 安全安心課

③防犯パトロールの推進

- セイフティーパトロール事業は、小・中学校の下校時間帯に自転車または徒歩による通学路の巡回警備を行い、児童・生徒の安全確保と不審者等による犯罪抑止を目的とする事業で、自主防犯組織のパトロールでは対応が困難な合志小、西合志第一小、西合志中央小の3小学校区の警備を行っている。
原則月曜日から金曜日の14時30分から17時30分までを、3人のパトロール隊員によって3小学校区を計画どおり巡回している。

- 青少年育成市民会議において、青少年の非行防止・見守り・安全確保のため、児童生徒の登下校中や長期休暇に合わせてパトロールを行っている。同会議地域部会員 84 名を割り振りし、令和 6 年度は 11 回のパトロールを実施した。

【関係する課】 学校教育課、生涯学習課

④防犯設備の整備

- 市内通学路等に設置しているLED防犯灯約 800 基を維持管理している。また、行政区が設置・管理する防犯灯へ補助金を交付し、防犯灯の整備を行っている。
- 令和元年度から、市内主要交差点及び通学路等を中心に見守りカメラの設置を進めており、令和 6 年度までに 21 か所 29 台を設置。また、防犯カメラ設置補助金制度を利用し、14 行政区 43 台の防犯カメラが各区に設置されている。

【関係する課】 安全安心課

⑤「子ども110番の家」プレートの配布

- 深刻な事案は発生していないが、こども達からは登下校中などにおけるケガの応急処置やトイレ使用等の依頼があっている。
- 令和 6 年度末時点で、「子ども110番の家」協力者として 151 件が登録されており、こどもたちの安全・安心のための協力を推進している。

【関係する課】 生涯学習課

⑥学校における防犯指導の推進

- 毎年度、小学1年生の入学時に、民間企業から寄贈される防犯ブザーを配布し、児童生徒の安全確保に努めている。
令和6年度防犯ブザー配付数:851 個

【関係する課】 学校教育課

⑦合志市地区学校等警察連絡協議会の推進

各小・中学校の校長および支援学校長と各学校の生徒指導担当、熊本北合志警察署の署員およびスクールサポーターを構成員とする合志市地区学校等警察連絡協議会を設置し、これを中学校区ごとに分割して、各校区の具体的な事案に対して取り組みを行っている。各学校にスクールサポーターが出向いて、薬物乱用防止教室やスマホや携帯の取扱い方について指導を行っている。

【関係する課】 学校教育課

⑧被害を受けた子どもに対する支援

- 学校教育課主催の不登校対策委員会や市生徒指導連絡会(いじめ対策委員会)に参加し、情報の共有に努めている。また虐待等を受けた児童に対して、児童相談所や学校等と連携するとともに、要保護児童対策地域協議会において、受理し支援にあたっている。

令和6年度被虐待児童人数 296 人

年度	被虐待児童人数
令和2年度	217 人
令和3年度	231 人
令和4年度	267 人
令和5年度	260 人
令和6年度	296 人

- 犯罪等の被害については、警察との情報連携が不可欠であり、さまざまな機会をとらえて熊本北合志警察署と情報交換を行っている。何か事案があれば学校、学校教育課、およびこども家庭課と連携し、また、家族が犯罪に巻き込まれた児童生徒への対応については、警察と連携しアドバイスを得ながら対応する。

【関係する課】 学校教育課、こども家庭課

(3)安心して外出できる環境の整備

①安全な道路交通環境の整備

通学路の危険箇所について、関係団体と合同点検を実施した。また、歩道の新設並びに歩道の設置が難しい箇所には、カラー舗装の導入や路面表示を行うなど歩行者の安全性を図るための整備に努めた。

【関係する課】 建設課

②安全安心な公園施設の整備

様々な規模の公園を整備しており、管理する都市公園数は 240 箇所ある(R6 年度末現在)。また、安全安心な公園施設を維持するため、遊具については専門業者による定期点検を実施した。

(令和 6 年度) 240 箇所

【関係する課】 都市計画課

③園庭・園舎の開放

保育所等において、随時、保護者からの依頼があれば見学にも対応している。また、地域のこどもとその保護者に対して、自主事業として子育て支援事業を実施し、育児相談の場として園庭・園舎を開放した。

【関係する課】 こども未来課

5. 男女共同参画とワークライフバランスの推進

(1) 男女協働参画の推進

① 男女共同参画推進の啓発

男女共同参画に関する理解を深めるため、毎年、「気づきうなずきフェスティバル」の開催や啓発情報誌「いっぽ」を作成し、市ホームページへの掲載、市施設への設置および男女共同参画推進懇話会委員の広報記事(男女共同参画推進懇話会便り)掲載を行い、啓発に努めた。

【関係する課】 総務課

② 男女共同参画推進行動計画の推進

「第4次合志市男女共同参画推進行動計画 パートナーシッププラン・こうし」(R4～R8)に基づき、男女共同参画に関する現状や課題を踏まえ、社会環境の変化に対応するとともに、持続可能な地域づくりを担う取組の一つとして、一人ひとりの人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もが個性や能力を十分に発揮し活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指し、各分野において、様々な取組を進めた。

【関係する課】 総務課

(2) ワークライフバランスの推進

① ワークライフバランスのための広報・啓発、情報提供の充実

必要に応じて市商工会や市企業等連絡協議会に広報・啓発、情報提供等を実施した。

【関係する課】 総務課、商工振興課

6. こどもの人権の尊重と要保護児童へのきめ細かい対応の推進

(1) 児童虐待防止対策等の推進

① 虐待防止ネットワークの構築強化

合志市要保護児童対策及び DV 防止対策等地域協議会について、こども家庭課が調整機関として主催する、代表者会議及び実務者会議、また個別ケース検討会議を開催し、関係者の共通理解と連携の強化を図っている。

【関係する課】こども家庭課、福祉課、高齢者支援課、学校教育課

②養育支援訪問事業

母子健康手帳交付及び妊婦・乳児訪問等で把握した妊婦及びこどもとその保護者に対し、専門的相談支援（保健師・助産師が自宅を訪問）を実施。

年度	訪問件数(件)
令和2年度	201
令和3年度	174
令和4年度	165
令和5年度	152
令和6年度	191

【関係する課】こども家庭課

③虐待事例に対する支援

こども家庭課が、要保護児童対策及び DV 防止対策等地域協議会の調整機関として、事例内容により、支援対象児童等及びその家庭に関係する機関や施設の担当者を取りまとめ、随時個別ケース検討会議を行っている。そこで、各関係機関等の役割分担を行い、きめ細かい支援を実施している。こども家庭課においては、乳児訪問・乳幼児健診等での支援対象児やその家族の確認を行っている。

【関係する課】こども家庭課、福祉課、高齢者支援課、学校教育課

(2)ひとり親家庭等の自立支援の推進

①ひとり親家庭等への相談支援や情報提供の充実

こども家庭課内に女性相談員兼母子・父子自立支援員を配置し、電話相談や面接相談を行い、必要な情報提供を行いながら支援を行っている。ひとり親家庭等に対する就労支援や経済的課題は、安心サポート合志と連携している。

【関係する課】こども家庭課、こども未来課

②生活支援や経済的支援の充実

父(母)親がいない児童、あるいは父(母)親に重度障害がある児童を養育する母(父)親等に対して児童扶養手当を支給した。

年度	受給資格者(人)	支給総額(円)
令和2年度	642	277,531,840
令和3年度	639	285,349,480
令和4年度	640	282,515,030
令和5年度	627	278,860,360
令和6年度	632	291,934,980

ひとり親家庭の医療費につき、一部負担金を支払った場合、その自己負担金の2/3を助成した。

年度	受給資格者(人)	支給総額(円)
令和2年度	725	13,947,614
令和3年度	725	13,182,330
令和4年度	720	12,914,052
令和5年度	702	11,386,334
令和6年度	699	11,477,198

就学援助費として、ひとり親家庭のみならず、経済的理由により就学が困難と認められる児童及び生徒又は入学予定者の保護者等に対し、義務教育の円滑な実施を資するため必要な費用を援助した。

令和6年度実績:認定者数 790 人 70,477 千円

【関係する課】こども未来課、学校教育課

(3)障がいのあるこどもへの支援の充実

①療育や相談支援の充実

●菊池圏域(菊池市・合志市・菊陽町・大津町)で巡回支援専門員を整備し、保育園や小中学校など要望のあった施設を訪問している。また個別支援・ケース会議、全体支援・こどもの行動観察等を実施した。

令和6年度実績:巡回箇所 48 か所

(内訳 幼児:136 件、小学生:107 件、中学生:0 件)

年度	巡回箇所	うち幼児	うち小学生	うち中学生
令和2年度	46	148	59	0
令和3年度	38	89	126	0
令和4年度	80	139	216	1
令和5年度	68	133	208	0
令和6年度	48	136	107	0

- 1 歳 6 か月児・3 歳児健診や心理相談で児の発達確認や家族からの相談に応じ、療育機関の紹介をしている。

令和6年度実績:心理相談回数 158 回(延べ 478 人)

年度	心理相談回数	のべ人数
令和2年度	148	440
令和3年度	151	472
令和4年度	158	469
令和5年度	161	452
令和6年度	158	478

委員:心理相談の予約をとる場合、半年待ちという回答があると聞いた。

予約の枠が足りていないのではないかな？

➤担当への確認を行いました。

8 月現在、2 か月待ちの状況。

年明けの新規相談の場合は、年間予約枠が不足し、すぐに対応できないことがある。心理相談に繋がった児童を継続して手厚くフォローしているため、複数回利用することが多く、年々増加傾向にある。そのため、経過観察が必要な相談者については、状況に応じて予約の枠取りの工夫をしているが、全ての要望に応えることはできていない。

また、事業を受託する心理士不足もあり、容易に増枠もできない。

こどもを取り巻く全ての関わる人(家族・地域・保育士等)が、適切にこどもに対応できるよう、周囲の環境整備も同時に行う必要があると感じている。

【関係する課】福祉課、こども未来課、こども家庭課

②障害福祉サービス等の利用による支援の充実

療育の利用希望者からの申請を受けて聞取調査等を行い、障害児通所支援事業の支給決定および給付を行った。

また、1歳6か月児・3歳児健診や心理相談において、児の発達確認や家族からの相談に応じ、必要に応じて児童発達支援事業を紹介している。

年度	通所延べ利用人数(人)	相談支援(人)
令和2年度	6,010	69
令和3年度	6,645	89
令和4年度	7,634	89
令和5年度	8,495	90
令和6年度	9,029	86

【関係する課】福祉課、こども未来課、こども家庭課

③保育や教育的支援の充実

- 障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行うために、必要に応じた特別支援学級を設け、その中で、専門性を有した教育介護補助員を配置し、児童生徒の様々な障がいに対応することができる体制の中で教育を実施。

年度	特別支援学級在籍児童生徒数	
	小学校(人)	中学校(人)
令和2年度	238	77
令和3年度	252	116
令和4年度	284	144
令和5年度	302	153
令和6年度	331	148

- 障がいのあるこどもへの加配を行っている保育所等への補助を実施。

年度	障がい児入所人数(人)	補助金額(千円)
令和2年度	36	21,862
令和3年度	31	21,462
令和4年度	36	23,418
令和5年度	32	22,449
令和6年度	42	24,937

- 市内放課後児童クラブにおいて障がいのある児童を受入れる体制を整備することを目的に、放課後児童クラブ運営者に専門知識等を有する障害児対応支援員の配置を委託し実施。

年度	障がい児受入れ数(人)	事業費(千円)
令和2年度	50	52,079
令和3年度	48	68,404
令和4年度	60	69,416
令和5年度	68	83,263
令和6年度	75	99,794

【関係する課】こども未来課、学校教育課

④経済的支援の充実

- 特別児童扶養手当、障害児福祉手当は在宅の重度障がい児等に対して、申請を受け、審査・決定を行った。(所得制限有)

年度	特別児童扶養手当(人)	福祉手当(人)
令和2年度	257	64
令和3年度	279	64
令和4年度	297	62
令和5年度	338	62
令和6年度	350	57

- 特別支援学級に就学する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため、その負担能力に応じ、特別支援学級への就学に要する経費に対し、就学奨励費を支給した。

年度	認定児童数(人)	認定生徒数(人)
令和2年度	208	63
令和3年度	193	90
令和4年度	211	109
令和5年度	214	117
令和6年度	226	103

【関係する課】福祉課、学校教育課

◇補足資料

合志市の年度ごとの出生数の推移

(単位:人)

平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
650	659	634	629	607	593	545	558	518